

資料提供

提供年月日	平成28（2016）年7月28日（木）
提供者	長浜バイオ大学 アドミッションセンター室 広報担当：伊藤 TEL. 0749-64-8100 FAX. 0749-64-8140

長浜バイオ大学次期学長に蔡晃植教授を選任

学校法人関西文理総合学園は、7月26日に開催した理事会において、長浜バイオ大学第三代学長に蔡晃植教授（長浜バイオ大学バイオサイエンス学部）を選任いたしました。任期は、現在の三輪正直学長の任期が満了となる、2017年4月1日から2021年3月31日となります。

＜次期学長のプロフィール＞

蔡 晃植（さい・こうしょく、Koushoku Sai）

職 位：教授 学 位：農学博士（東京大学）

略 歴：1983年3月朝鮮大学校理学部卒業後、東京大学農学部農芸化学科研究生として学位取得。理化学研究所基礎科学特別研究員、奈良先端科学技術大学院大学助手を経て、2005年4月に本学教授に着任。バイオサイエンス学科環境生命科学コース長を経て、2013年4月1日より大学院バイオサイエンス研究科長、2015年より学校法人関西文理総合学園常務理事。日本農芸化学会代議士、日本植物生理学会評議員、日本農芸化学会英文誌編集委員、植物化学調節学会評議員、「植物の生長調節」編集委員などを歴任。1960年6月14日生まれ、56歳。東京都出身。

受賞歴：1997年 植物化学調節学会奨励賞、1999年 千里ライフサイエンス振興財団研究奨励賞

学会歴：日本農芸化学会会員、日本植物生理学会会員、植物化学調節学会会員、日本分子生物学会会員、日本農薬学会会員、日本植物病理学会会員、International Society for Molecular Plant-Microbe Interactions会員

専門分野／植物分子生理学、生物有機化学



＜次期学長の抱負＞

生命科学分野の先端研究と高いレベルの教育を行ってきた長浜バイオ大学には、社会における本学の存在意義の明確化、時代をリードする人材を育成出来る教育プログラムの策定、少子化への対策、具体性のある地域貢献の方策などを検討することが求められております。

私は、これらの問題に真摯に取り組むことで、長浜バイオ大学が今後も世界最高水準の研究レベルを維持し、社会に貢献しうる有能な人材の育成を行う大学として存在し続け、地域貢献における中核大学としての地位を確立できるように努力したいと考えております。